

ハーセプチン+mFOLFOX6【90分】療法 (Day1)

【外科】284-1【胃癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 6週ごとを1コースとする

Day	1	2	15	16	22	29	30	~42
施行日	/	/	/	/	/	/	/	/
ハーセプチン	↓	休薬	休薬	休薬	↓	休薬	休薬	
エルブラット	↓	休薬	↓	休薬	休薬	↓	休薬	
アイソボリン	↓	休薬	↓	休薬	休薬	↓	休薬	
5-FU	↓	↓	↓	↓	休薬	↓	↓	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	デキサート注1.65mg 2A アロカリス注235mg 1V グラニセトンバッグ 100mL 30分
②	●ハーセプチン【 】mg 注射用水 20mL 生食 250mL 1時間30分
※③	●エルブラット注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 2時間
※③	同時に 側管より ●アイソボリン注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 2時間
④	●①5-FU注【 】mg 生食 50mL 3分
⑤	生食 50mL 10分フラッシュ
⑥	●②5-FU注【 】mg 5%ブドウ糖 120mL 約46時間baxter infusion pumpで

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
ハーセプチン注	8 mg/kg mg/Body
エルブラット注	85 mg/m ² mg/Body
アイソボリン注	200 mg/m ² mg/Body
①5-FU注	400 mg/m ² mg/Body
②5-FU注	2400 mg/m ² mg/Body

※ハーセプチンは1コース目の初回のみ8mg/kgで投与

■注意・確認事項

- 中心静脈から投与すること。
- エルブラットは塩化物・塩基性溶液との混和は不可
- 初回投与前、初回3~6ヶ月毎に心エコーを行うこと。
- ハーセプチンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。

入力 薬剤師	看護師	看護師